

助成事業報告会
及び地域づくり講演

地域交流会

中国地方 地域づくり等 助成事業 報告会

(令和7年度実施事業)

開催日時

令和8年 **6月27日(土)** 開場 12:00~
開演 13:00~

開催場所

広島 YMCA 国際文化ホール

〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11 電話番号 082-227-6816

開催趣旨

中国地方の豊かな自然や文化を活かし、地域の交流・連携による一体的で活力ある地域づくりを行うには、地域の知恵や工夫と積極的かつ意欲的な取り組みが重要であり、一般社団法人中国建設弘済会は、平成15年度より地域づくりに取り組むボランティア活動に対し助成支援を行っています。

今回は、令和7年度に助成された中から、8団体の取り組みを報告していただき、報告団体と参加者の皆さんとともに地域づくりの提案や課題等を共有し、中国地方の地域づくりの推進を図ることを目的として開催します。



主催：一般社団法人 中国建設弘済会

後援：中国地方地域づくり等推進委員会

お問い合わせ先／推進委員会事務局 Tel.082-577-0006

●助成事業報告会及び地域づくり講演会

13:00～17:40

主催：一般社団法人 中国建設弘済会
後援：中国地方地域づくり等推進委員会

●主催者あいさつ

一般社団法人 中国建設弘済会 理事長

●来賓あいさつ

国土交通省中国地方整備局 企画部長

【事業報告】

- ① 尚徳さくらの里づくり推進協議会 法勝寺川・小松谷川を中心とした里づくり 鳥取県米子市
美化活動に「米子市水辺の楽校」を取り込み、水と緑と花と調和した感性豊かな里づくりを目指すことを目的として各種イベントを実施した。水辺の楽校では、小学生・中学生とも連携した活動を行うことにより、ふるさとへの愛着と誇りを持つと同時に地域の活性化への貢献できた。
- ② NPO 水の都プロジェクト協議会 宍道湖畔おもてなし体験事業 島根県松江市
宍道湖南岸を中心に湖畔一帯を賑わいスポットとしてアピールすることを目的とし、水の都松江の歴史文化の体験、縁日風の催しや水辺の遊びをテーマとした体験メニューを実施し、魅力の発信、賑わいづくりに継続的なメニューとなることが確認できた。
- ③ いいなんい〜な実行委員会 作って灯そう、スノーキャンドル 島根県飯南町
「雪」を資源ととらえ、多様な年代、地域内外の人との関わりが持てる賑わいの場を創出し、交流人口の拡大を目的に、シンボルイルミの設置、雪像・スノーキャンドルづくり、地元食材を使った料理のふるまいなど交流スペースの創出を行い、地域の魅力発信にもつながった。
- ④ 檜原ゆうあい会 花と学びの郷 整備と利活用促進事業 山口県下関市
中山間地域の持続・発展のために歴史街道や山城跡、里山、川などのあらゆる地域資源を再生、維持・整備して“花と学びの郷”へと活用することを目的とし、肥中街道の周辺整備や案内板の更新などを実施して、歴史ウォークや史跡探訪会、自然観察会などの充実を図った。

【質疑応答】(休憩)

- ⑤ NPO アートファーム 旭川河畔における拠点形成と地域再生のプロジェクト 岡山県岡山市
岡山市街地にある旭川河畔・中州エリアを文化やアートを活用して“元気にしていきたい”と取り組んでいる。2023年から盆踊り「銀河の夜祭り」を地域ぐるみで運営・開催し、交流・関係人口の拡大となった。また、2025年から備前岡山「月夜の舞流し」も併催し、岡山の新しい風物詩をめざしている。
- ⑥ 備中とと道トレイル推進協議会 備中とと道トレイル推進事業 岡山県笠岡市、矢掛町、井原市、高梁市
明治から昭和初期にかけて、笠岡から吹屋を結んだ60kmの道（通称「とと道」）を掘り起こし、道を特定して歩ける道として整備し、未来へ継承するため年4回のウォーク大会を開催している。道標に設置した二次元コードにより位置情報提供でよりウォークの不安の解消を図った。
- ⑦ 信岡家住宅保存会 氏風亭で学ぶ茶道文化 福山市新市町
茅葺きの茶室「氏風亭」を活用して、地域の子供たちに茶道文化を伝える体験会を実施し、日本文化への愛着を形成するとともに、信岡家が資材を投じて整備した農業用水や街道にあって巡見の接待をした歴史にもふれ、身近にある文化財を知り後世へ伝える大切さを周知した。
- ⑧ 大道田まちづくり支援の会 ふれあい広場づくり 広島県呉市
地区内の治山ダム直下の山を開拓し、子供たちや地域の方々のふれあいの広場〈花とみどりの夢広場〉を創出して地域の水害対策にも寄与している。ダム堰堤には中学生が壁画を制作。広場には四季の花を植えるなど休憩場所としての活用も図った。

【質疑応答】(休憩)

【地域づくり講演】 演題 地方に暮らすから伝えられることがある

講師 島根県立大学地域政策学部 准教授 田中輝美氏
※ローカルジャーナリスト。

【表彰式・講評】 ◎大賞（1団体）・敢闘賞（2団体）

●地域交流会 18:00～19:30（別会場）

申込方法 中国建設弘済会のホームページから申込み

※申込みサイトは5月7(木)にアップロード開始

<http://www.ccba.or.jp/>

※または、下記にご記入の上 FAXにてお申込みください。



FAX 送信用参加申込書

報告会
及び講演会

参加

地域
交流会

参加・不参加
(参加費 4,000円)

フリガナ

貴社名

フリガナ

ご芳名

ご連絡先

電話 () -

携帯 () -

●申込締切日 / 6月12日(金)

●申込先 / 推進委員会事務局

FAX.082-577-0003

※定員(先着 200名)になり次第締切らせて頂きます。予めご了承下さい。

4. 地域づくり講演

演題 地方に暮らすから伝えられることがある

※講演概要

中国地方の豊かな自然や文化を活かし、地域の交流・連携による活力ある地域づくりを行うためには、地域のみなさんの知恵や工夫と積極的かつ意欲的な取り組みが重要となっていきます。（中国地方地域づくり等助成事業趣旨より）そのためには、地域の魅力を掘り起こし、記録し、そして発信するチカラが必要です。

ローカルジャーナリストとは、地域で暮らし、その地域を記録・発信する人のことであり、本講演では、地域の魅力や可能性、課題を探し、収集し、記録し、発信する手法を紹介するとともに、その心構えについてアドバイスをを行います。

講師 島根県立大学地域政策学部 准教授 田中輝美氏

島根県浜田市出身・在住。大阪大学文学部卒業後、山陰中央新報社に入社し、報道記者として政治、医療、教育、地域づくりなど幅広い分野を担当。

2014年、同社を退社し、「ローカルジャーナリスト」という肩書きをつくって独立。

2018年総務省ふるさとづくり大賞奨励賞。大阪大学大学院人間科学研究科で関係人口を研究して博士（人間科学）を取得し、2021年島根県立大学地域政策学部に着任。

著書に『関係人口の時代』（中央公論新社）、『関係人口の社会学』（大阪大学出版会、第1回日本社会関係学会賞・最優秀賞受賞）、共著に地域発信の教科書『ローカルジャーナリストガイド』（JCEJ）など。

